

2022年4月25日

日本取締役協会
会長の交代内定に関するお知らせ

一般社団法人 日本取締役協会

当協会では、宮内義彦会長(オリックス シニアチエアマン)から、富山和彦副会長(経営共創基盤 IGPIグループ会長)への会長交代が内定しましたので、お知らせいたします。本件は2022年5月12日に開催予定の第20回定時総会および理事会の決議を経て、正式に決定する予定です。

1. 異動の内容

氏名	新役職	現役職
宮内義彦	名誉会長	代表理事、会長
富山和彦	代表理事、会長	理事、副会長

2. 異動予定日

2022年5月12日

3. 新会長の略歴

氏名	富山和彦(とやま かずひこ)
生年月日	1960年4月15日
最終学歴	東京大学法学部卒業、米国スタンフォード大学経営学修士(MBA)
略歴	2003年4月 (株)産業再生機構代表取締役専務(COO)に就任 2007年4月 (株)経営共創基盤代表取締役 CEO に就任 2020年5月 (株)日本共創プラットフォーム代表取締役社長に就任(現任) 2020年10月 (株)経営共創基盤 IGPIグループ会長に就任(現任)

主な公職	経済同友会副代表幹事などを歴任。財務省財政制度等審議会委員、内閣府税制調査会特別委員、金融庁スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議委員、内閣官房新しい資本主義実現会議有識者構成員、他 (以上現任)
------	--

[一般社団法人 日本取締役協会 宮内会長コメント]

日本取締役協会はみなさまのご支援もあり、おかげさまで設立20年を迎えることができました。思えば会社法改訂、各種コードの制定、東証上場基準の変更などにより、コーポレートガバナンスは広く普及いたしました。しかし現在の日本経済を取り巻く環境は大きく変わろうとしており、企業にはコーポレートガバナンスの

更なる推進が求められます。ここで、日本取締役協会は、会長を次世代の富山氏へバトンタッチし、サステナブルな発展を目指していただきたいと思います。コーポレートガバナンスを使い、企業発展させる当協会の目標は不変です。今後とも日本取締役協会へのご支援をよろしくお願いいたします。

[株式会社 経営共創基盤 富山グループ会長コメント]

本協会設立以来、20年にわたり我が国のコーポレートガバナンスをリードされてきた宮内義彦会長の後を引き継ぐことについて、身に余る光栄であるとともに責任の重さに身が引き締まる思いです。近年、日本企業のガバナンス改革は大きな進展を見せていますが、制度面、形式面が先行するなかで実質面とのギャップが指摘されています。ガバナンスの実質を担う取締役会、特に社外取締役の質の向上を中心に、我が国の企業と経済の持続的成長に向けて、さらなるムーブメントを起こしていきたいと、当協会への引き続きのご支援をどうぞ宜しくお願い致します。

日本取締役協会はコーポレートガバナンスを充実することにより、企業活動を発展させ、日本経済を元気にすることを目的としています。経営者、専門家、研究者、独立取締役、機関投資家など、経営に携わる人々がそれらの目的を持って集まる、日本で唯一の団体です。設立 2002 年 3 月 13 日。協会ホームページ <https://www.jacd.jp>